

第8 OFTC 研究会 (2019年1月24日~26)

1月24日 (木)

14:30- 受付

15:20-15:30 オープニング

セッション1 セキュリティ, テスト関連技法

15:30-16:10 コントローラ拡大と鍵系列を用いた論理暗号化法の SAT 攻撃耐性の評価

○橋立英実, 細川利典 (日本大), 吉村正義 (京産大)

16:10-16:50 論理暗号化に対する SAT 攻撃アルゴリズムの高速化

○松永裕介, 吉村正義 (九州大)

16:50-17:30 FPGA におけるオンチップ可変テストクロック生成器の検討

○古川大悟, 三宅庸資, 梶原誠司 (九工大), Poki Chen (国立台湾科技大)

18:30- 夕食

1月25日 (金)

セッション2 ストカスティック回路

9:00-9:40 Framework for Quantifying and Managing Accuracy in Stochastic Circuit Design

○Florian Neugebauer, Iliia Polian (Univ. Stuttgart), John P. Hayes (Univ. Michigan)

9:40-10:20 ストカスティックコンピューティングによるニューラルネットワークの耐故障性について

○可児冬弥, 市原英行, 岩垣剛, 井上智生 (広島市大)

10:20-10:40 休憩

セッション3 機械学習応用

10:40-11:20 障害データベースへの機械学習適用の試み (その2)

○坂東幸一, 田中健次 (電通大)

11:20-12:00 Word2Vec, Doc2vec の Dependability 分野での応用の可能性

○加藤健太郎

12:00-13:00 昼食

セッション4 遅延故障

13:00-13:40 Small Delay Fault Diagnosis on Compacted Responses

○Stefan Holst (Kyushu Institute of Technology), Eric Schneider, Michael A. Kochte (Univ. Stuttgart), Xiaoqing Wen (Kyushu Institute of Technology), Hans-Joachim Wunderlich (Univ. Stuttgart)

13:40-14:20 遅延故障向け組込み自己診断のための圧縮シード生成

○中野雄太, 大竹哲史 (大分大)

14:20-14:40 休憩

セッション5 特別講演

14:40-15:40 国際会議報告: ITC2018

○島山一実 (群馬大)

セッション6 招待講演

15:40-16:20 わが国最初の計算機“自働算盤”・・・明治150年を記念して

○山田昭彦 (コンピュータシステム&メディア研究所)

16:20-16:40 事務連絡

18:00- 夕食

1月26日(土)

セッション7 コンピュータ応用, 回路設計

8:50-9:30 PCMシナプスベースのニューラルネットワーク用のCPUと結合したウェイトトレーニング方法

○李 陽, 難波一輝 (千葉大)

9:30-10:10 CNNによるLSIレイアウト上の障害抽出に向けて

○永村美一, 福本聡 (首都大), 新井雅之 (日本大)

10:10-10:20 小休憩

セッション8 メモリ応用

10:20-11:00 シナプス重みに相変化メモリを用いたニューラルネットワークの識別性能への影響

○陳 培愚, 難波一輝 (千葉大)

11:00-11:40 メモリコンピューティングとMCLD (Memory based Computable Logic Device)

○佐藤正幸 (群馬大), 藤田昌宏 (東京大)

11:40-11:50 クロージング

(昼食の提供はありません)